

2017年度 東海地域リーグ(U13) 実施要項

- 1 目的 東海サッカー協会は、日本サッカー界の将来を担う3種年代(U13)の選手たちのより一層のサッカー技術の向上と健全な心身の育成を図ることを目的とする。さらにレベルが拮抗したリーグ戦をM-T-Mメソッドに基づき、長期間を通して行う。
- 2 主催 東海サッカー協会・東海サッカー協会3種委員会
- 3 主管 東海地域リーグ運営委員会
- 4 後援 ミカサ (未定)
- 5 協力 愛知・静岡・三重・岐阜県3種委員会
- 6 日程 2017年6月～2017年9月 (前期)
2017年10月～2017年12月 (後期)
- 7 会場 東海地域各会場
- 8 参加資格 (1) (公財) 日本サッカー協会に第3種加盟登録を完了しているチームとする。
(2) 2004年4月2日以降に生まれた選手であること。
*小学6年生は、「クラブ申請」していれば出場できる

- 9 参加チーム数

愛知	岐阜	三重	静岡	計
3	1	0	3	8

- 10 競技方法 (1) 前期・・・8チーム (ホーム&アウェイ/7試合)
後期・・・8チーム (ホーム&アウェイ/7試合)
(2) 勝ち3点、引き分け1点、負け0点の勝ち点により順位を決定する。
なお、勝ち点が同一の場合は以下の項目に従い順位を決定する。
① 全試合のゴール・ディファレンス (総得点-総失点)
② 全試合の総得点
③ 当該チーム同士の対戦成績 (勝敗)
④ ①～③の全項目について同一の場合は、抽選により決定する。
(3) 試合時間：60分 (前・後半30分)
(4) ハーフタイムのインターバル：原則として10分 (前半終了から開始まで)
(5) 延長戦は実施しない。
- 11 競技規則 (1) (公財) 日本サッカー協会最新の「サッカー競技規則」による。
(2) 各試合の選手は最大18名とし、試合ごとにエントリーできる。
(3) 交代に関しては、選手18名から最大7名の交代が認められる。(自由な交代ではない)

- (4) 退場を命じられた選手は次の1試合に出場できず、それ以降の処置については、本大会規律・フェアプレー委員会において決定する。
 - (5) 期間中に警告を3回受けた選手は、次の1試合に出場できない。
 - (6) (4) 及び (5) の行為を繰り返した選手は、最低2試合の出場停止とする。
 - (8) 試合開始30分前までに、メンバー表と選手証を本部へ提出する。
 - (9) ベンチ入りできる人員は最大12名(役員5名、選手7名)とする。
 - (10) アディショナルタイムの表示を実施する。
 - (11) 試合球は各チームへ配布されたボールを持ち寄る。
- 12 ユニフォーム (1) ユニフォーム(シャツ・ショーツ・ストッキング)については、正の他に副として、正と色彩が異なり判別しやすいユニフォームを各試合に必ず携行すること。
(2) シャツの前面・背面に各試合で登録した選手番号を付けること。ショーツの選手番号については付けることが望ましい。番号は1～99番とする。
(3) キャプテンマークは着けるほうが望ましい。
- 13 昇格・降格 (1) 東海地域リーグの7・8位チームは降格。
(2) 東海地域各県最上位リーグ1部の1位チームによるプレーオフ上位2チーム昇格。(ただし、東海地域リーグの参加意思を持つこと)
- 14 表彰 優勝チーム以下第3位チームまで表彰する。
- 15 交通 交通費については参加チームの負担とする。
- 16 傷害補償 大会中の負傷など事故があった場合は、応急処置のみ行います。参加チームは必ず傷害保険に加入すること。
- 17 運営組織 (1) 参加チームの中から運営本部を設置し、東海地域リーグ会場・審判など運営全般を統括する。
(2) 本大会において、規律・フェアプレー委員会を組織し、委員長は東海3種委員長が務める。委員の人選については委員長に一任する。
- 18 その他 実施要項に記載されていない事項については、東海サッカー協会3種委員長会において協議し決定する。